



特別金 5 万円を引き出したのは取り組みの成果 諦めずに交渉し 一時金の仕組みを変える

JAL ユニ 宣伝ビラ
No22-05

さあ、
渋沢栄一 5 枚の
使い道を考えよう!



業績連動の期末とは別に特別金を支給

5 万円でできること…

- 当たれば Nintendo Switch 2 を
- 2 人で 1 泊 2 日の温泉旅行に
- 高級焼肉 or お寿司を食べる
- ほしかったブランドバッグや、革靴を一品ゲット
- ロボット掃除機やノイズキャンセリングイヤホンを買ってみる
- 楽器やキャンプ用品を購入して新しい趣味に挑戦
- 「推し活」費用に全振り
- エステやマッサージに他にもいろいろあるでしょう

交渉しなかったら
期末の 1・0 か月
だけだったかもね



今年度 利益は ANA を上回る見通し
年間一時金も上回るようにしてほしい

FY25通期業績予想 (単位: 億円)	JALグループ	ANAグループ
EBIT (JAL) 営業利益 (ANA)	2,000	1,850
EBITマージン 営業利益率	10.1%	7.8%
純利益	1,150	1,220

24 年度の通期決算では売上収益、営業利益ともに ANA に及ばず、特別金は「感謝の気持ち」として 5 万円ということになりました。しかし 25 年度は JAL グループの方が高い業績見通しを示しています。一時金は 2 年連続で大きな差がついています。今年度こそ上回れるように、まずは夏の一時金で大幅な上積み进行を期待します。

25 夏闘要求

2025 年度の一時金は
夏と年末で **6.0** か月以上
支払うこと

運航乗務員の賃上げ交渉は継続中

日本航空乗員組合（JFU）は春闘で以下の要求を掲げました。

FY25 期首において現行の賃金水準に対し 20%引き上げること。

また、FY27 期首までに現行の賃金水準に対し 30%以上引き上げること。

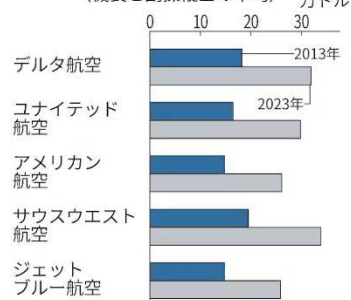
春闘で示されたベア 1 万円の回答は、「定昇込みでグループ全体平均 5%の賃上げ」との説明でした。同時に運航乗務員に関わる手当の改善も示されましたが、要求にはまったく届きませんでした。

鳥取社長は 3 月の会見で「先を見越して安定的に採用を続けている。流出の懸念もあると思うが、グローバルに見て賃金等の乖離があるところは重々承知している。一度にとはいかないが、継続して上げていきたい」とパイロットの賃上げについて述べています。

JFU は春闘において粘り強く交渉を重ねた結果、現在も賃上げに関する話し合いは続いています。

「失われた 30 年」でパイロットの給料も…

米航空会社パイロットの年収は急増
(機長と副操縦士の平均) 万ドル



(注)米運輸省のデータを基に算出

世界的な航空需要の拡大が見込まれ、各国の航空会社はパイロットの大幅な賃上げを進めています。米系航空会社が先行し、他国にも広がっています。世界では「2043 年までに 62 万人の新規パイロットが必要」とされ、日本でも「2030 年までに約 900 人の追加が必要」と試算されています。今や世界は人材争奪戦となっており、高待遇を提示する企業も増えています。

一方、日本の航空各社は対応が遅れ、米系とは年収で倍近い差があります。「失われた 30 年」の間に、日本のパイロットの年収は世界に大きく後れを取ってしまいました。日本を代表する航空会社として誇りを持って働けるよう、パイロットの年収を世界水準に近づけ、人材を確保し、運航路線を維持・拡大していく。そのことで利益を生み出し、グループ全体の賃上げにもつなげていける——日航労連(JU)は、そんな未来を目指しています。

休憩時間を与えない勤務は違法



客室乗務員の職場で、休憩に関して注目する裁判と交渉について報告します！

Jetstar★ 東京地裁で勝訴

ジェットスタージャパンの労組「ジェットスタークルーアソシエーション(JCA)」が訴えていた裁判では、休憩時間のない勤務は人格権の侵害だと指摘され、休憩のない勤務が違法とされた画期的な判決が出されました。客室乗務員の休憩時間を巡る司法判断は初めてのことです。

ANA 休憩に関する団交が不誠実

ANA の元 CA が一人でも入れる労働組合 JCU とともに客室乗務員の休憩問題を団交で追及していました。昨年 9 月、その団交での会社の対応が不誠実だったとして、東京都労働委員会から不当労働行為救済命令が出されました。今も中央労働委員会で協議が継続されています。

労基法では、「労働時間が 6 時間超の場合は少なくとも 45 分、8 時間超では 1 時間の休憩時間を与える」となっています。客室以外の職場のみなさんはいかがですか？

日航労連「JALユニ」宣伝ビラ No 22-05 2025 年 5 月

発行：日本航空労組連絡会議

Tel/Fax03-6423-2461 Mail ⇒

日本航空乗員組合・日本航空ユニオン・日本航空キャビンクルーユニオン

